

表1. 級位審査 基準と着眼点

(Rev5.)2013.1.26

級位	審査内容			審査基準(基本)	着眼点								
	基本動作 (胴垂のみ)	基本稽古 (面着用)	互角稽古		着装・礼法	基本動作・基本稽古	切返し	互角稽古					
1級	—	・切返し (1回、個別に実施)	2回実施	機会をとらえ、有効打突を打てる	・着装・礼法を修習し 相手と合わせて 実施出来る		・大技で速さと迫力があり、 正確で滑らかな打ち・返し が出来る	・相手の動きに対応し、機 会をとらえた打突が出来 ている					
2級				攻めて、有効打突に近い技を出せる					・正しい姿勢を維持出来る ・左右面打突も気剣体が 一致している				
3級	—	1回実施	正しい間合いから、気剣体の一致した技が出来る。残心も取れる	・一足一刀の間合いから 打突している						・左右面を連続で大きく、 打突部位を刃筋正しく 打てる ・正しい間合いから打突し ている ・正しく受けられる	・間合いを考慮した技を出 そうとしている		
4級			気剣体の一致した連続技が出来る									・連続技での足捌きが出 来る	・正面をしっかりと打突してい る ・左右面を正しく打突してい る
5級			気剣体の一致した一本技が出来る						・一本技にて、踏込み足 を使って、大きく正確に 打突出来る				
6級	・前進後退空間打突 (正面、左右面) ・跳躍素振り (各10本、5人まとめて 実施)	—	竹刀操作に適合した足捌き (送り足、踏込み足)が出来る	・着装・礼法を修習し 正しい動作がで きる	・送り足、踏込み足が 出来る (Rev4) ・正しい握り、手の内 になっている	・大きな発声が出来ている (Rev4)							
7級			竹刀を大きく正確に振れる				・正しく構え、大きく正確 に打てる ・大きな声が出ている ・蹲踞動作が出来る	・左手が十分に上がり、打 突時しっかり手が伸びて いる					
8級	・立礼、・挨拶(氏名 等)・帯刀、構え ・足さばき(前後左右)、 ・三拳動空間打突、前 進後退空間打突(両 者:面打ちのみ)	—	—	所作礼法が出来る (挨拶も含む)	・大きな声で挨拶が 出来る ・提刀から帯刀の 動作が出来る ・立礼が出来る ・抜刀納刀が出来る	・前後の送り足が出来る  ・『1,2,3』と『メン』を大き な声で出来る							